

開心術 を受けられる患者様へ

患者氏名 : @PATIENTNAME 様

受持医署名 :

担当看護師/在宅復帰支援担当者名:

月日(日時)	/	/	/	/	/
経過(病日等)	ICU退室1日目(術後 日目)	ICU退室2日目	ICU退室3日目	ICU退室4日目	ICU退室5日目
達成目標	◇循環動態が安定している ◇ドレーンからの出血がない ◇創痛がコントロールされている ◇食事が半分以上摂取できる ◇室内歩行ができる		◇循環動態が安定している ◇創感染・肺炎の兆候がない 創部発赤、腫脹なし、38.5℃以上の発熱がない ◇トイレ、洗面へ歩行ができる		◇創感染。肺炎の兆候がない 創部発赤、腫脹なし、38.5℃以上の発熱がない ドレーン排液に混濁・異臭がない ◇感染予防のための行動がとれる ◇病棟内歩行ができる
治療・薬剤・処置 (点滴・内服)	心電図モニター・酸素・点滴・尿管がついています 傷口に溜まる液を外に出すためにお腹に管(ドレーン)がついています 毎食前に血糖測定をおこないます 医師の回診は、毎日おこないます 点滴や酸素は医師の指示によりはずれません 体重測定を毎日行います 肺の機能を鍛え、痰を出しやすくするために深呼吸訓練と吸入を一日3回行います				
検査		レントゲンと採血があります 明日以降は医師の指示に従い、おおむね1日おきに採血や胸部レントゲンをとります。			
活動 安静度	ベッドの上での生活となります。 ベッドを起こして座る練習をしましょう	立ち上がり、部屋の中を歩きます。 余裕のある方はトイレ歩行をしていただけます 点滴の管などがありますので初めて歩かれる時はお知らせください	トイレ・洗面へ 歩いていきましょう	病棟の中を歩くことができます	検査へ歩いていく事が できます
食事	心臓食or高血圧食になります 水分制限が(必要・不要)です ()ml/日 きざみ食から開始し、徐々に普通の硬さのご飯にかかります 食事量が半分以下の場合 栄養補助ドリンクをのんでいただきます なお、差し入れ等は、医師の許可された方のみになります。(塩分の取りすぎを防ぐため)				
清潔		体拭きをお手伝いします		気分がよければシャンプーを行います	
排泄	おしっこの管ははいています。	歩けそうならおしっこの管をはずします。その後はポータブルトイレ、トイレ歩行へと段階的に進めます。			
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導 在宅復帰支援計画 総合的な機能評価	担当看護師より手術後の計画についてお話し ます 	手術後から寝たまの生活が続いていて、肺の機能が弱っています。肺炎などを起こさないためにも 動ける範囲でどんどん動いていきましょう。 痛みが強いときや眠れないときは、医師の指示にてお薬をお渡します また、不安な点、気になることがあるときは、お知らせください			

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

患者氏名 : @PATIENTNAME 様

受持医署名 :

受持看護師/在宅復帰支援担当者:

月日(日時)	/	/	/ ~ /	/ ~ /
経過(病日等)	ICU退室6日目(術後 日目)	ICU退室7日目(術後 日目)	ICU退室8日目(術後 日目)~	ICU退室12日目(術後 日目)~ 退院
達成目標	◇創感染、肺炎の兆候がない 創部発赤、腫脹なし、38.5℃以上の発熱がない ドレーン排液に混濁・異臭がない ◇病棟内歩行ができる ◇感染予防のための行動がとれる		◇院内歩行ができる ◇食事療法について理解ができる ◇内服の自己管理ができる	
治療・薬剤・処置 (点滴・内服)	心電図モニター・ドレーン(管の付いた袋)がついています 毎日、医師の回診があり、傷の消毒を行います ドレーンからでる液の量をみて、回診時に管を抜きます 毎食前に血糖をはかります 毎日体重を測ります		傷の状態に応じてガーゼは必要なくなります 血糖値が安定してきたら血糖測定は終了です	
検査	指示により採血やレントゲンがあります		医師の指示にて心臓エコーやホルター心電図の検査があります 造影CTやカテーテル検査を行い手術後の状態を調べます	
活動 安静度	病院内を歩くことができます			
食事	退院まで治療食(塩分制限)になります 水分制限のある方は水分制限表を表示させていただきます 持参された飲み物も制限の中に含まれますのでご注意ください 普通の硬さのご飯を食べていただけます			
清潔	体拭きをお手伝いします ドレーンが抜けた方は、その翌日からシャワーを浴びていただきます 感染予防のために毎日シャワーを浴びましょう シャワー後、看護師にて傷の消毒をします			
排泄	トイレへ歩行してください			
患者様及び ご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導 在宅復帰支援計画 総合的な機能評価			薬剤師から内服薬の説明があります。 入院中から薬の自己管理が出来るようにしていきます 退院後の食事について管理栄養士の話も聞けます。 ご希望があればお知らせ下さい	
				



注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

市立四日市病院 心臓血管外科

説明者署名 :

上記について、説明を受けました

平成 年 月 日

患者又は家族署名 :